

## 4 おわりに

これまで、岡山県では、シカは一部の地域にしか生息しておらず、造林地における獣害対策は一般的な作業ではありませんでした。現在は、植林するときは獣害対策をしないとシカに食べられてしまうという認識が広がりつつあります。

一方で、獣害対策のために防護資材は設置したものの、その後の管理が十分でなく、シカによる食害を受けてしまった造林地も多く見られます。

本冊子で紹介した“踏査”は一般的な点検方法ですが、コストや労力の関係から、あまり実施されていませんでした。今回の調査で、防護資材がシカによる影響を最も受けやすい初期にしっかり管理することで、気象災害が発生した場合は早期の対応が必要ですが、その後はあまり労力をかけずに管理できることが分かりました。

本冊子が、育林施業を実施する上での一助となり、健全な森林の育成に携わることができれば幸いです。

## 参考文献

- 環境省（2021）：全国のニホンジカ及びイノシシの生息分布調査について，環境省ホームページ(www.env.go.jp)
- 林野庁（2021）：主要な野性鳥獣による森林被害（令和2年度），林野庁ホームページ (https://rinya.maff.go.jp)
- 三枝道生（2018）：林内に設置された防護柵の管理状況，第69回応用森林学会大会要旨集，pp27
- 三枝道生（2021）：林内に設置された侵入防止柵の管理技術の検討，令和3年度森林・林業交流研究発表会要旨集，pp19
- 三枝道生、井上真吾（2019）：防鹿柵の効果的な維持管理方法の検討，水利科学 No. 368, pp111～123

## — Special Thanks —

美作県民局農林水産事業部森林整備課  
奈義町森林組合

本冊子内のデータ収集に当たり、多大な御協力を賜りました。  
ありがとうございました。

### 問い合わせ

岡山県農林水産総合センター  
森林研究所 林業研究室

〒709-4335

岡山県勝田郡勝央町植月中1001

Tel : 0868 (38) 3151 代表

0868 (38) 3153 直通

Fax : 0868 (38) 3152

Mail : ringyo@pref.okayama.lg.jp